

請願文書表（令和元年9月定例会）

受理番号	請 第 1 号
受理年月日	令和元年9月6日
件 名	運転免許証自主返納者に対する施策に関する請願
請 願 者	京都府舞鶴市字和江209番地 年金者組合舞鶴支部長 石間正治 ほか2名
紹介議員	小西洋一 石東悦子 小杉悦子
要 旨	<p>【請願事項】</p> <p>1. 運転免許証自主返納者に対して、近隣他市なみの施策を講じて頂きたい。</p> <p>2. 運転免許証自主返納者に対して、平成25年から他市に先駆けて実施され、平成27年に廃止された「運転経歴証明書」交付手数料（1100円）の助成を復活して頂きたい。</p> <p>【請願趣旨】</p> <p>現代社会は車社会で、移動手段として一人1台車を所有する生活になり、益々交通量が増えるのに伴い高齢者による事故が多発し、憂慮すべき状況が生まれています。また、人は誰でも高齢者になり、いつまでも運転を続けるわけにはいかず、安全を考えて運転免許証を自主返納する市民が増えているのが実情です。最近のデータによりますと、平成25年135人、平成26年188人、平成27年228人、平成28年268人、平成29年234人、平成30年408人となっており今後も増えることが予想されます。</p> <p>運転免許証を返納した後の問題は、何といたっても買い物や通院など外出時の交通問題です。一つ一つの移動に不便をきたし、路線バスや鉄道・タクシーなどを利用することになり、その分生活費の出費もかさみます。返納者にとっては、二重の負担を強いられます。</p> <p>このような問題に対して他市では、運転免許証自主返納者に色々な施策が考えられ実施されています。それは、車社会の中で長年に渡り家族を守り社会に貢献してきた者への行政の温かい配慮も含まれていると考えます。私たちは高齢者が大切にされ、安心して暮らせる社会を望んでいます。舞鶴市でも、このような施策の実施を切にお願いいたします。</p>
付託委員会	市民文教委員会